

私は千葉県の成田空港の南側にある富里市で育ちました。富里市はスイカの名産地として知られ、関東ローム層に覆われた洪積台地にあります。実家の周辺は見渡せば畑と防風林で山はなく、真冬には彼方に富士山がみえるという遮るものがない田舎です。綺麗に耕した畑で、土器の欠片や矢じりを探しまわって叱られた記憶があります。

高校時代は、英語が残念なのに、国外に出る夢をもっており、進学先もこれが影響しています。若気の至りです。大学では恩師の講義に惹かれ、卒論では地熱水の起源に関する研究のため、建設中の地熱発電所の現場でお世話になっていました。その頃は国の政策転換で新規箇所調査が減少していく時期で、就職は鉱山系列の建設コンサルタントに拾ってもらいました。現在は天候に左右されない、ポテンシャルでは世界第3位の再生可能エネルギーである地熱発電が再度注目されています。ただ、新規稼働はここ10年なく、過去に培われた調査技術がうまく継承されていないのであれば非常に残念なことです。

技術者として24年間北海道で生活していますが、そのスタートはオホーツク紋別市の採石場の地質調査で切りました。それ以降、広く土木地質の調査に携わり、現在は防災関連の調査を行っています。近年、地質調査が減少し、技術の向上が図られにくい状況ですが、真にその技術が必要になった時に確実に継承されているよう、自分の役割を果たして行こうと思っています。

内田 秀明 (うちだ ひであき)

●建設部門(土質及び基礎)

勤務先

株式会社 エーティック
技術第二部



→ 次号は、竹花大介さん(建設・応用理学部門)

私は1955年に札幌市で生まれ、幼少時代を帯広市で、小学校から高校まで札幌市で、大学時代は帯広市で過ごしました。1978年、大学卒業と同時に北海道土地改良事業団体連合会(土地連)に就職し、農業土木に関する調査・計画・設計・試験・研究・施工管理・維持管理の業務に18年間携わりました。

その後、1996年に社会人大学院生として母校で学ぶため土地連を退職して帯広市に移り、同時に、株式会社ズコーシャに入社しました。ズコーシャでは、農業土木に関する業務の他、道路や都市計画などの一般土木の調査・計画・設計の業務にも携わり、技術の幅を広げることができたと思います。

その後縁があり、2008年に現在の株式会社東洋コンサルタントに入社し、現在は建設コンサルタントの企画・営業の仕事に携わっております。また、2009年には東洋コンサルタントの関連会社として株式会社都市田園協働ファームを立ち上げ、主に、農畜産物の生産・加工・開発・販売や、都市と農山漁村とのコーディネートに関する仕事に携わっています。

1994年に技術士試験に合格し技術士登録してから18年が経ちましたが、これまでに北海道本部の幹事、業務委員会委員、地域産業研究会幹事などを務めさせて戴き、この間に沢山の技術士の方達と交流を深めることができましたことは、私の貴重な財産となっております。

あと数年で還暦を迎えますがまだまだ発展途上です。これからも技術士の地位・知名度の向上と技術士会の発展、ひいては安心・安全な社会の構築と科学技術の健全なる進展に、微力ではございますが寄与・貢献して行くことができましたら幸いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

住友 寛 (すみとも ひろし)

●農業部門(農業土木) /
総合技術監理部門

勤務先

株式会社 東洋コンサルタント
北海道支社



→ 次号は、小林幸男さん(上下水道部門)